ＹＨ３０４８－３、ＹＨ３０６４－１、ＹＳ７０８４－１ ＣＰＵボード用　ユニバーサルボード

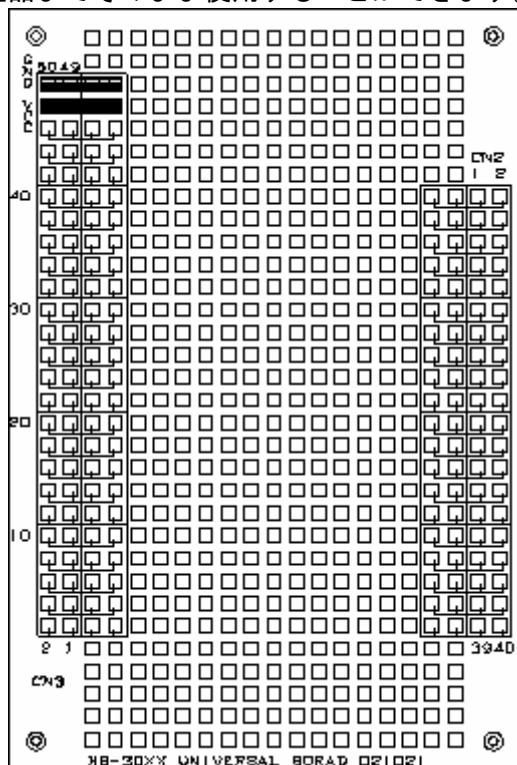
取扱説明書

初版　２００２．１１．１４
第４版　２００５．４．１４　発行元イエローソフト変更、他
第５版　２０１０．７．０１　ＹＳ７０８４－１記述追加

ＹＨＡ-１２

有限会社イエローソフト

●概要

本製品はＹＨ３０４８－３、ＹＨ３０４８Ｌ－３、ＹＨ３０６４－１、ＹＳ７０８４－１ボードの上にＰＣ１０４用コネクタで重ねて使用するユニバーサルボードです。複数枚の重ねが可能で、重ねてもＣＰＵの信号線はそのままユニバーサルの上にでています。ＣＰＵと同じサイズでコンパクト、ローコストですので試作から量産品までそのまま使用することができます。

●特徴

ａ）２．５４mmピッチ両面スルーホール、穴径１mmのランドによりＴＴＬ　ＩＣ（ＤＩＰ　１４ピン）で１２個、２０ピンで９個程度実装できます。各種２．５４mmピッチコネクタも実装できます。
ｂ）添付のＰＣ１０４コネクタ　４０ピン、５０ピンによりＣＰＵボードの上に複数枚重ねて使用できます。重ねてもどのボードにもＣＰＵボードからの信号線がでます。
ｃ）ＰＣ１０４用コネクタは後付けなので作業が容易です。

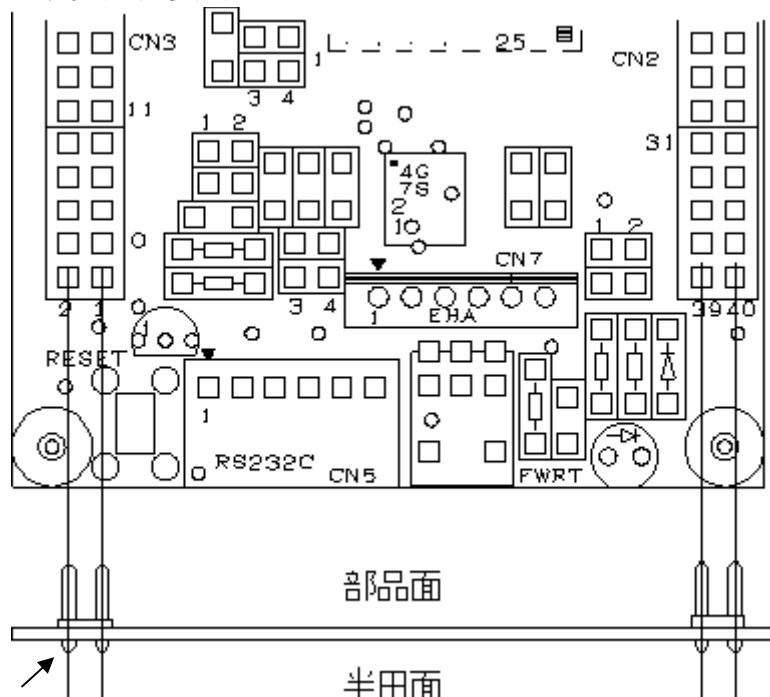
●製品構成

ユニバーサル基板	１枚
４０ピン　ピンヘッダ	１個
５０ピン　ピンヘッダ	１個
４０ピン　ＰＣ１０４コネクタ	１個
５０ピン　ＰＣ１０４コネクタ	１個
本取扱説明書	１部

●外形寸法、電源

８６×５８mm（ＣＰＵボードと同じサイズ）
電源はＣＰＵボードと重ねることによりＣＰＵ側から供給されます。

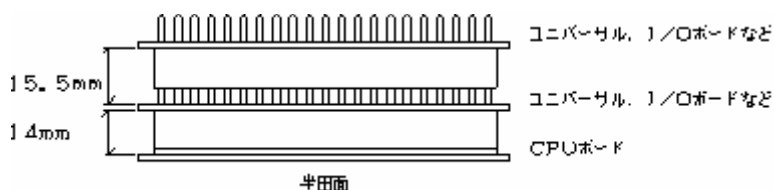
●コネクタ
　ＣＰＵボードのコネクタＣＮ２，ＣＮ３の信号がＰＣ１０４用コネクタによりそのままユニバーサルボードの上に出ます。ＣＮ２，３の信号名につきましてはＣＰＵボード添付の取扱説明書を参照下さい。

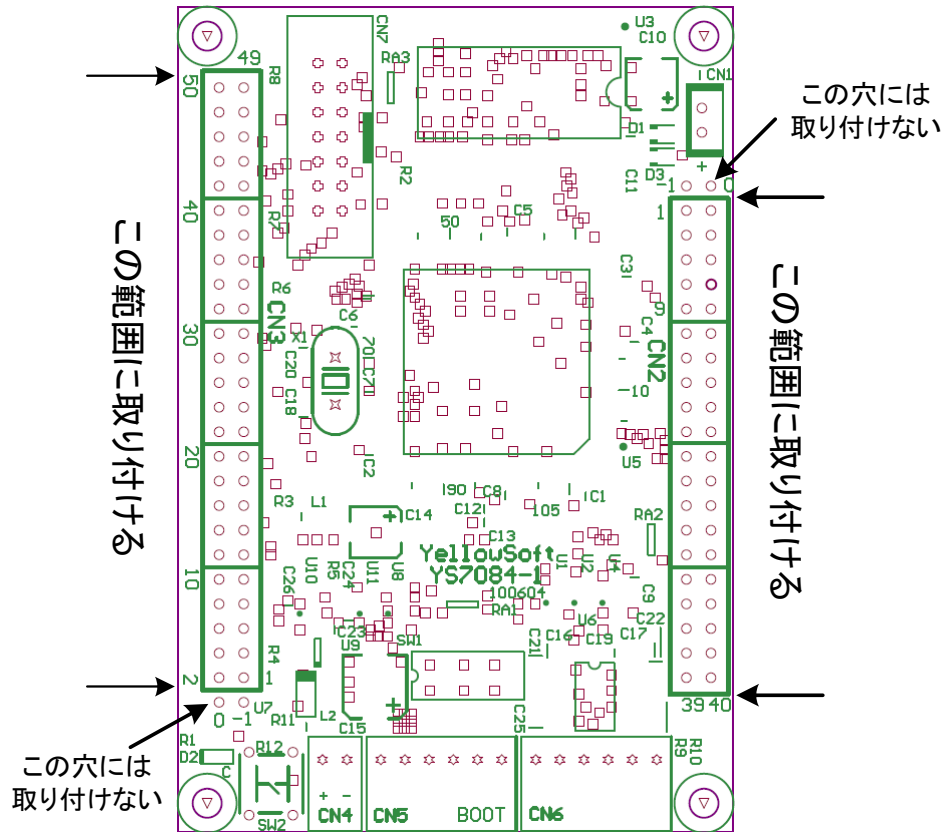
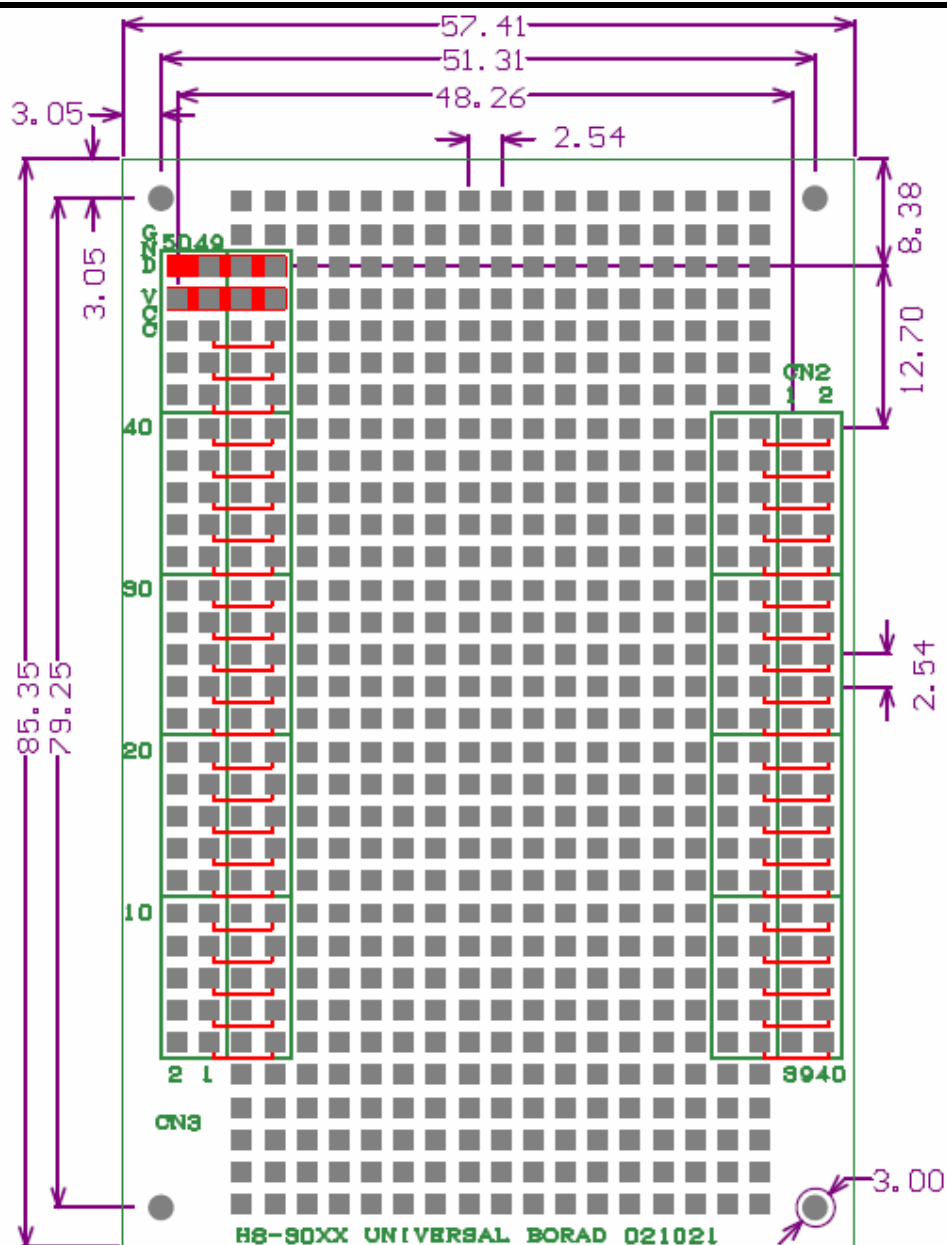
●使用方法
ａ）使用前準備
　始めにＣＰＵボードに添付の５０ピン、４０ピンのピンヘッダを半田付けします。注意点は
　　　　　１）ピンヘッダは長い方を部品面にする。
　　　　　２）ピンヘッダは基板に対して垂直に半田面側から半田付けする。
です。（下図参照）

ピンの短い方を半田面にし、半田付けする。

　半田付けのこつは、まずピンヘッダの両端のピンを仮半田付けし、ＣＰＵ基板に対して浮いている部分が無いか、垂直になっているか確認し、ＯＫであれば残りのピン全てを半田付けします。もしくは、Ｉ／Ｏボードを部品面より重ねてしまってから半田付けします。

　垂直でなく半田付けされたピンヘッダではＩ／Ｏボードを部品面より重ねることができません。また、その修正は大変な労力を要しますので注意して作業して下さい。

ｂ）次にお客さまの回路図に従いユニバーサルボード内側の端子に配線を行い、最後に添付のＰＣ１０４用コネクタを外側に半田付けしてＣＰＵ上に重ねて下さい。ＰＣ１０４用コネクタは部品面よりユニバーサルボードに垂直になるよう半田付けします。ですので、部品がＰＣ１０４用コネクタに近すぎたり、背が高すぎると半田付けできない場合がありますので注意して下さい。

　他の拡張ボードと重ねて使用できます。ＣＰＵボードのピンヘッダとユニバーサルボードのコネクタ間に隙間が無いように挿入します。４隅をネジ止めする場合、１４ｍｍのスペーサーを使用します。ユニバーサルボードの上にまたユニバーサル、Ｉ／Ｏボードなどを重ねる場合、隙間が開くのが正常です。スペーサーは１５．５ｍｍのものを使用します。

ｃ）ＹＳ７０８４－１取り付け時の注意

ＹＳ７０８４－１はＹＨ３０４８－３などと比べ、ＣＮ２、ＣＮ３が４０、５０ピンから４２、５２ピンに拡張されています。そのため、取り付け場所を間違えると接続できません。下記の図のＣＮ２，ＣＮ３の白枠で囲まれた場所にピンヘッダーを取り付けてください。またＹＳ７０８４－１で拡張されたＧＮＤ端子は本ユニバーサル基板へは接続されません。

基板図

Mechanical Figure Unit: mm

使用上のご注意

環境の悪いところ（ノイズ、油、ほこり、塵、５０℃以上の高温、零下、結露）での使用はお止め下さい。

お問い合わせ先

（有）イエローソフト
〒350-1213　埼玉県日高市高萩 624-7 武蔵高萩駅前ビル 3F TEL 042-985-3118　FAX 042-985-3128
e-mail naka@yellowsoft.com
URL http://www.yellowsoft.com